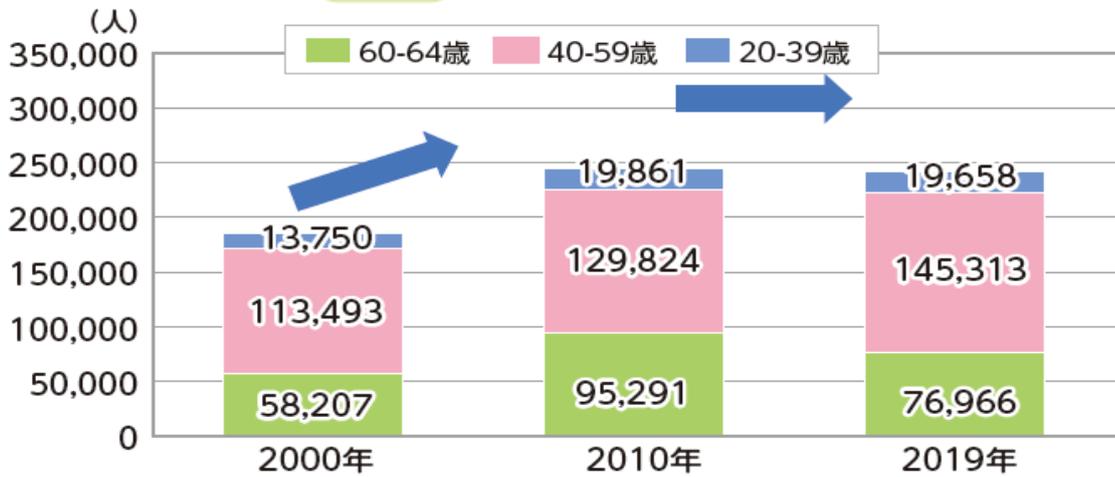


## (1) 働く世代におけるがん罹患の状況

- 働く世代のがん罹患数は年々増加傾向にあります。また、がん患者の3人に1人は「働く世代」が占めています。

図表 7 働く世代のがん罹患数の推移



※国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん罹患モニタリング集計(MCIJ))、ならびに国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)より作成。  
 ※上皮内がんを含まない。

- 男性では、大腸がん・胃がん・肺がんが多く、女性では乳がん・子宮がん・大腸がんが多くなっています。<sup>1</sup>

図表 8 性・年齢階級別のがん罹患数(2019年)

	20～39歳	40～59歳	60～64歳
<b>男性</b>	1位 大腸がん 933人	大腸がん 12,300人	大腸がん 8,127人
	2位 悪性リンパ腫 588人	胃がん 6,275人	前立腺がん 6,966人
	3位 白血病 579人	肺がん 6,059人	胃がん 6,402人
<b>女性</b>	1位 乳がん 3,647人	乳がん 36,041人	乳がん 9,407人
	2位 子宮がん 2,436人	子宮がん 12,726人	大腸がん 4,680人
	3位 甲状腺がん 2,005人	大腸がん 8,712人	子宮がん 2,792人

※国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)より作成。  
 ※上皮内がんを含まない。

1 各がん種の詳細な情報は、国立がん研究センターがん対策研究所がん情報サービス (<https://ganjoho.jp/public/cancer/index.html>) を参照してください。

出所：「がんになった従業員の治療と仕事の両立支援サポートブック～2人に1人ががんになる時代に～」(東京都福祉保健局発行(令和4年11月))より抜粋